

学校だより

横浜市立十日市場小学校

令和5年4月28日(金)

緑区十日市場町1392番地-1

電話：981-0420

FAX：983-1694

横浜市情報ネットワーク（ＹＹネット）上に本校のホームページがあります。

URL：<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tookaichiba/>

四つ葉のクローバーを手に、想いめぐらせ…

校長 平田 あや

桜が散ると木々の緑が日増しに濃くなり、さわやかな季節となってきました。新年度が始まって約3週間。子どもたちは、新しい学級や教室にも慣れ、生き生きと学校生活を送っています。一人一人がめあてをもち、やる気に溢れていることが感じられます。先日の授業参観では、多数の方に来校いただき、その子どもたちの姿を見ていただくことができました。

さて、先日の放課後、「校長先生、いいもの見つけたよ！あげる。」と、小さな手のひらにそっと乗せた四つ葉のクローバーを大事そうに見せてくれた子どもがいました。この時期、よくある光景です。何とも微笑ましく、毎年私の心を癒してくれます。

クローバーの葉は、通常は3枚ですが、時々4枚のクローバーが見つかります。なかなか見つからないものなので、よくラッキーアイテムとして重宝されます。この貴重な葉は、他のところよりも見つけやすい場所があるそうです。それは、人や車が通り、クローバーが踏まれたり、折られたりしやすい場所です。どうしてそんな危険なところで、四つ葉のクローバーがたくさん見つかるのでしょうか。

クローバーの葉は、小さい赤ちゃんの葉がだんだん大きくなって生長します。小さい赤ちゃんの葉のうちに踏まれたり傷つけられたりすると、二つに分かれてしまうことがあるそうです。そうすると、クローバーはその傷を治そうとして、たくさんの栄養を出します。そのたくさんの栄養で、踏まれて二つに分かれてしまった赤ちゃんの葉が、それぞれ大きな葉に育ち、四つ葉のクローバーになります。だから、踏まれやすい場所に多いのでしょうか。

ラッキーアイテムー四つ葉のクローバーの元は、誰かに踏まれてできた傷なのです。その傷を治そうとする力で、四つ葉のクローバーが誕生する。生き物のもつ力の凄さを感じずにはいられません。そんな風に生まれた四つ葉のクローバーだからこそ、運よく見付けられると、その凄い力のお裾分けをいただき、幸せな気持ちになれるのでしょうか。

毎日の生活の中で、うまくいかないことがあり落ち込んでしまったり、悩んだりして、心がちょっと痛くなることは、誰にでもあると思います。でも、それを乗り越えられた時、クローバーの四つ目の葉のように、人にも新しい何かが生まれるのではないのでしょうか。子どもたちも、友達とけんかをしたり、学習がうまく進まなかったり、自分の思い通りにならないときがよくあります。けれども、その瞬間、その瞬間を逃げず、相談したり知恵を借りたりしながらも、自分の力で何とか解決することが大切だと思います。その経験が、心の栄養として新たな自分の力になり、次の一步を踏み出すことにつながっていくのではないのでしょうか。

もうすぐゴールデンウィークです。知らず知らずのうちにたまった疲れが取れるようにゆっくり過ごしてください。そして、お出かけの際には、ぜひ四つ葉のクローバーも探してみてください。